

【概要版】

魅力の架け橋

高原湖畔都市

シゼンとヒトが
つながる、すわ。

第六次諏訪市総合計画

第六次諏訪市総合計画とは

総合計画とは市政運営の最上位計画です。この計画で示す将来像実現のため、市民、事業者、団体、行政など関係者が力を合わせて進むための指針となるものです。

※第六次諏訪市総合計画の詳細は諏訪市公式 HP でご確認ください。

●計画期間

時代に合った自治体経営を実現するために、計画期間は5年間としています。前身の第五次諏訪市総合計画の10年と比較し短期間となっています。



●総合計画の構成

総合計画は、市全体の目指すべき姿を表す「基本構想」、全部局で実現すべき「重点目標」、各分野での取組の方向性を表す「基本方針」で構成されています。重点目標は、個別分野に限らず全部局が目指すべき目標で、地方創生総合戦略の要素を強く反映しています。



総合計画の軸となるものは次の通りです。

◇基本構想

企業における企業理念にあたるものです。目指すべき市の将来像、市の存在価値等を示します。

◇基本計画

基本構想実現のための目標及び方針になります。基本計画の骨格は、実現すべき重点目標と基本方針になります。この基本計画は、まち・ひと・しごと創生総合戦略、国土利用計画（土地利用構想）、国土強靱化地域計画を一体化したものとなります。まち・ひと・しごと創生総合戦略については、重点目標に色濃く反映しています。

○重点目標…総合力で目指す実現すべき目標です。企業における経営方針、経営目標、中期目標等の位置付けになります。

○基本方針…個別の分野の取組方針です。企業における事業部別、部門別方針です。

◇実施計画

基本計画を基に実施する事業を示すものです。毎年度見直し、時代に沿った事業を実施していきます。

●地方創生総合戦略

地方創生実現のためには個別の分野での取組だけでなく、自治体の総合的な取組が必要です。また、今後の自治体において、地方創生の実現は避けて通れない課題です。こうしたことから、第六次諏訪市総合計画に総合戦略を一体化し策定することとなりました。この第六次諏訪市総合計画は、第2期諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略という側面を持ったものとなります。

●国土強靱化地域計画

大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進するための計画です。実態に沿った計画とするため、総合計画と一体化しています。

●SDGs

人口減少社会において、持続可能な地方創生のためにはSDGs達成への取組は必要不可欠です。諏訪市においても、時代の流れをつかみ、新たな時代に対応した持続可能な市政運営を目指すため、SDGsの要素を総合計画に取り入れました。基本計画の基本方針は、各方針がどの目標達成に寄与するのかを検討して作成しています。

SDGs達成に向けた具体的な取り組みは今後も検討が必要です。個別の事業がどの目標に寄与するのか、事業にどの要素を組み込むことで目標達成に寄与するのかは実務的課題です。そのためには、個別事業検討時にSDGsを念頭に置くことが重要です。



●人口目標

諏訪市人口ビジョンに基づき、2040年4万3千人以上、2060年4万人以上を人口目標としています。なお、計画期間最終年度である令和8年の人口推計は約4万6千人となっています。

諏訪市の人口目標値

令和 22 (2040) 年の諏訪市人口	<u>4万3,000人以上</u>
令和 42 (2060) 年の諏訪市人口	<u>4万人以上</u>

●数値目標

人口目標以外にも、実現すべき重点目標には重点指標、基本方針にはKPIと呼ばれる重要業績指標を設定しています。数値としての目標を設定することで、客観的な効果検証が可能となります。第六次諏訪市総合計画策定にあたり、配慮した点は以下のとおりです。

①アウトカムベースの目標設定

分野の成果なので、個別事業の成果ではなく、もたらされた効果を検証する必要があります。目標設定をするにあたり「アウトカム」という「様々な事業を実施することにより世の中にもたらされる効果を測る指標」を基本として設定しています。

②毎年度数値を導き出せる項目設定

目標達成に向けて毎年度効果を検証していかなくてはなりません。毎年度、数値を把握することが計画期間中における現状把握にもつながることから、毎年度数値を把握できる項目を設定しています。

政策体系

第六次諏訪市総合計画における基本政策は基本計画として設定しています。その中で、実現すべき重点目標は、地方創生要素を色濃く反映したものとなっています。また、各分野で目指すべき方向性を示す基本方針は時代に応じた構成に刷新しました。



将来像

魅力の架け橋 高原湖畔都市

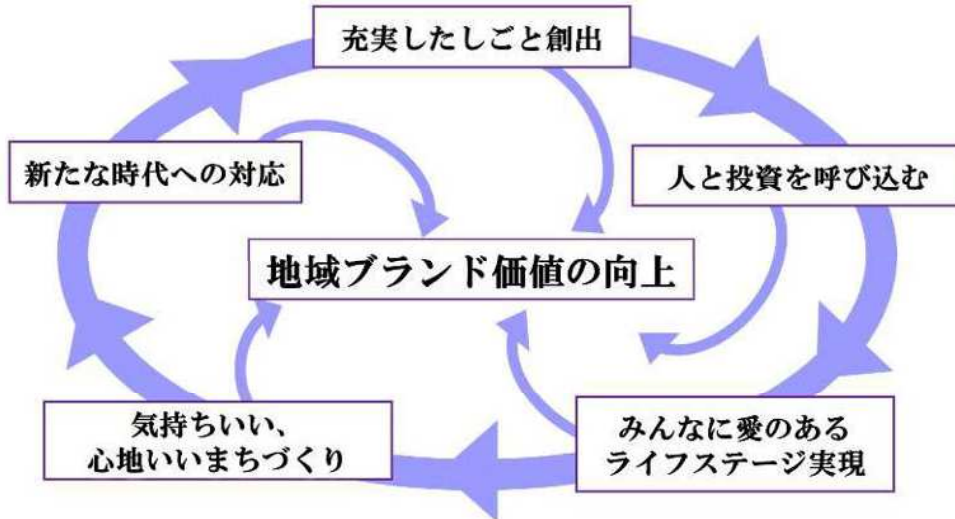
~ シゼンとヒトがつながる、すわ。 ~

諏訪市は、標高 759mの諏訪湖の畔にある高原湖畔都市です。このまちには、諏訪湖・霧ヶ峰・温泉といった豊かな自然、技術を武器に常に挑戦をし続ける工業、諏訪信仰等を代表とする歴史・文化等多くの魅力が集まっています。これらの魅力は昔から現代まで、多くの人々に支えられて育まれてきたものであり、その人々こそが最も重要な魅力です。

今ある魅力を活かし、つなげていく。魅力同士がつながる架け橋となる場所。その舞台が諏訪市です。この舞台の上で新たな価値が生まれ、輪のようにループしていく。その輪にみんなが入ってきたくなる。第六次諏訪市総合計画では、そんな将来像を掲げて実現に向けて動きます。

実現すべき重点目標

基本構想を実現するために、部局を横断した6つの実現すべき重点目標を設定しました。これは市全体で分野を越えた連携による取組により達成されるものです。



実現すべき重点目標は分野を越えて目指すべき目標です。これらは、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と横断的な目標である、「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」「新しい時代の流れを力にする」「多様な人材の活躍を推進する」という要素を網羅した上で、諏訪市の地域特性に合致したものを設定しています。実現すべき重点目標は次のページ以降で説明します。

なお、個別分野の基本方針について最も関連の深い実現すべき重点方針は分析していきますが、特定の紐づけはしないこととします。一つの方針でも、関連する実現すべき重点目標は多岐にわたります。分野の壁を越えた連携を生み出すことで、魅力の架け橋が実現すると考えます。

●重点指標

実現すべき重点目標達成の指標として6つの「重点指標」を設定しています。これは地方創生に関する最重要KPIを兼ねています。第六次諏訪市総合計画の計画期間終了時にはこの目標が達成されるように、全分野の力を合わせ、総合力・魅力を高めていきます。

重点指標項目	目標値
諏訪市の魅力度	現状値：164位 → 目標値：100位
市内事業所課税標準額平均	現状値：2,107千円/者 → 目標値：2,214千円/者
平均社会増減数(過去5年間)	現状値：△79.6人 → 目標値：△31.8人
合計特殊出生率	現状値：1.54 → 目標値：1.88
諏訪市への居留意欲度	現状値：132位 → 目標値：100位
市民満足度調査総合満足度	目標値：令和5年度調査比向上

実現すべき
重点目標①

地域ブランド価値の向上 (諏訪市の価値＝総合力を高める)

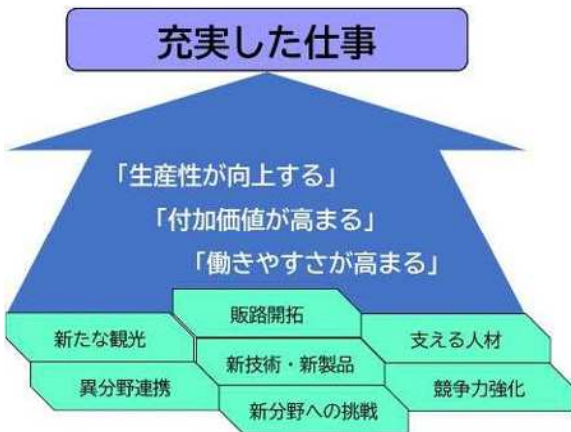
全ての取組は「諏訪市」という地域ブランド価値を向上させることにつながります。地域ブランド価値は、特定分野の取組だけではなく、福祉、学習、環境、インフラ、産業、防災、住民の参画等多くの要素を掛け合わせることで実現します。

各分野において魅力を高めることは重要ですが、待ちの姿勢ではなく、自ら発信していく、攻める姿勢が必要です。どの分野においても積極的に情報と魅力を発信し、幅広く行き届かせる。すべての「知りたい」情報が広まる。人と人とのつながりや新たな価値を生み、「諏訪市」という地域ブランド価値の向上に向けて動きます。



実現すべき
重点目標②

充実したしごと創出 (稼ぐ地域・働ける地域)



住民が安心して生活をするため、生計を立てるために重要な要素は「しごと」です。生活をするためには仕事が必要です。働く場所があることで、人々の生活が安定するとともに、U I Jターンにもつながります。

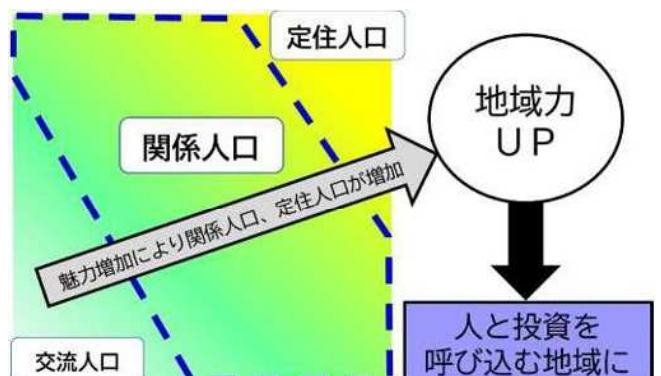
今ある仕事を維持し成長を目指すと同時に、生産性や付加価値を高めることで、稼げる地域、働きやすさが実現します。主要産業である製造業に関わらず、観光業、商業、農林業、そして今後生まれる新たな仕事、多岐に渡る充実したしごとを持つまち、誰もが希望を持って働けるまち、稼ぐことのできるまちの実現を目指します。

実現すべき
重点目標③

人と投資を呼び込む (人の流れを地方に)

多くの人から行ってみたい、住んでみたいと思われるために必要な魅力。地方創生のためには、関係人口を増やす必要がありますが、そのためには、地域の魅力を向上させることが必要です。住んでみたい、行ってみたいと思われる魅力を生み出すことで、人と投資が集まっていく地域とする必要があります。

そして、最も市と深い関係にある住民が魅力を知るためには、自らが情報を知らない魅力と魅力を磨き上げることはできません。今ある魅力を自ら知ることによって魅力を向上させると同時に、それを広く発信していきます。



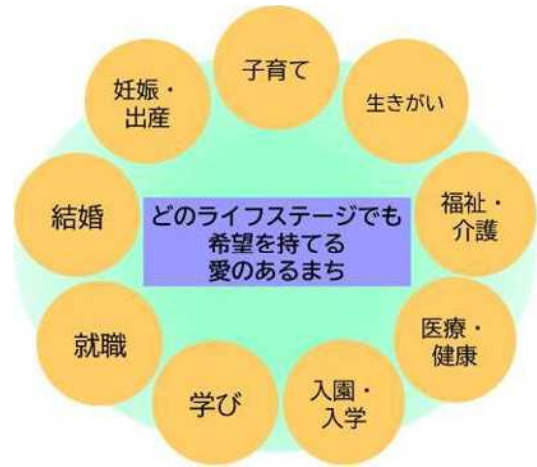
実現すべき
重点目標④

みんなに愛のあるライフステージ実現

(結婚・出産の希望をかなえる)

このまちで子育てをしていきたい、その後もずっと暮らしていきたいと思われるためには、ライフステージに沿った環境が必要です。特に結婚、出産、子育てがしやすい、仕事との両立ができるまちであることは、子育て期から先を見据えたライフステージ組立につながります。

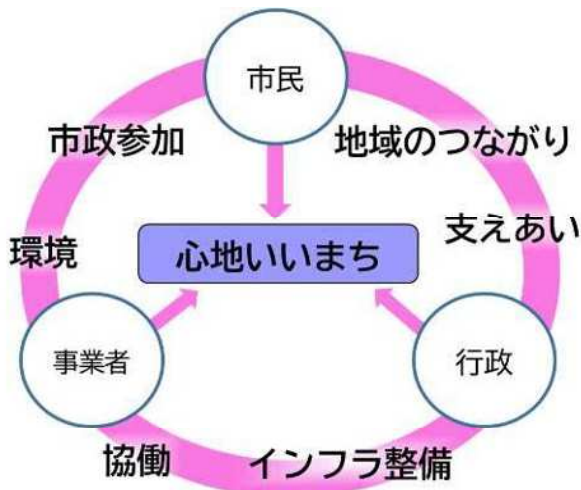
安心して出産をして、育児ができる。子育てと仕事を両立できる。引退後も充実した暮らしができる。長い人生、どのライフステージにいても希望を持って生活できるまちになる。そのためには、どのライフステージにいる人も取り残さない。どんな立場の人に対しても充実した愛のあるまち、そこでの希望を持てるライフステージ実現に向けた取組をしていきます。



実現すべき
重点目標⑤

気持ちいい、心地いいまちづくり

(都市基盤強化)



穏やかな日常を過ごすために必要なものは「安心」です。インフラの充実、住民同士のつながり、災害や病気といういざというときの対処が充実していることで、心配事を減らし安心できる日常が生まれます。そんな気持ちのいい、心地いいまちは住民に対してだけでなく、訪れる人にとっても魅力的。諏訪市に関わる全ての人々が日常生活を安心して過ごすことができ、快適な気持ちよさ、心地よさを感じ取れるまちを目指します。

また、まちづくりには住民の市政参加が必須です。住民と協働した二人三脚でまちづくりに取り組んでいきます。

実現すべき
重点目標⑥

新たな時代への対応

(多様性、新たな価値の導入)

少子高齢化、技術革新、SDGs、多様な価値観の表面化等、時代は急速に変化しています。新たなものへの挑戦は困難ですが、挑戦しなければ時代遅れの自治体となってしまいます。

今後待ち構えるアフターコロナ・ウィズコロナを見据え、時代に沿った自治体として進化し続けるとともに、多様な価値観をもつ多くの人が活躍できる場を実現します。



基本方針

基本構想の実現及び実現すべき重点目標達成のため、各個別分野で取り組む 33 の方針を基本方針として設定しました。実現すべき重点目標に重点指標を設定したように、各方針に K P I という目標指標を定めています。事業の成果ではなく、事業によりもたらされる成果を表すアウトカムベースの項目を設定しています。全分野、K P I には市民満足度調査の結果が含まれています。市民の評価がそのまま市政運営の指標となります。

No.	分野	方針
1	福祉	子ども・子育て
2		子育ての希望が叶い、子どもが幸せに輝く
3		地域福祉
4		みんなでの助け合い、支え合い
5		障がい者福祉
6		障がいのある人もない人も共に生きる地域
7		高齢者福祉
8	学習	誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり
9		社会保障制度
10		健康で文化的な生活の保障
11		健康づくり
12		健康でいきいきとした暮らし
13	環境	地域医療
14		住み慣れた地域での医療及び包括ケアの充実
15		学校教育
16	インフラ	自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる
17		地域教育
18		地域に学び、地域に生きる子どもを育てる
19		生涯学習・文化芸術
20		学びや文化芸術に、親しみ、活かし、つなぐ
21	産業	スポーツ振興
22		誰もが気軽に楽しく親しめるスポーツ
23		文化財保護・活用
24		諏訪の特色である文化遺産を守り、活かす
25		環境保全
26		緑豊かな自然環境の保全
27		森林保全
28	貴重な森林を守り育てる	
29	防災	環境衛生
30		快適な生活環境を住民に
31		道路整備・計画
32		道路環境整備と広域交通ネットワーク
33		都市空間
34	参画協働	地域特性を活かした快適な住環境整備
35		上水道・下水道
36		上水道、下水道の安心利用
37		温泉
38		天与の恵み 温泉の享受と活用
39		地域公共交通
40		持続可能な地域公共交通と輸送サービス構築
41	行政経営	工業
42		選ばれ続けるものづくり地域
43		観光
44		“SUWAらしい”があふれる観光地
45		商業・流通
46	参画協働	生活を支える、ホットする温かさ
47		農林漁業
48		農林漁業を守り、育て、活かす
49	参画協働	雇用・スタートアップ支援
50		働きやすさと挑戦の後押し
51		防災・危機管理
52	参画協働	自分とみんなを災害から守る
53		安心生活
54		地域ぐるみで守る安心生活
55	参画協働	まちの賑わい創出
56		集まる賑わい、つながる賑わい
57		多様な市民の参画
58	参画協働	多様な人材が活躍できる環境整備
59		持続可能な地域
60		地域活動の活性化による持続可能な自治
61	行政経営	健全財政
62		行政資源の効果的活用
63		スマート化
64	行政経営	新時代行政への変革
65		広域連携
66	圏域全体が連携してめざす諏訪の地域力向上	